

情報社会の護身術「メディア・リテラシー」

とあるCMの家族像。父は栄養ドリンク飲んで頑張って働きに出て、母は家で家事、育児に忙しい。この情景を「ふつう」の家庭だよなく、とすんなり受け止めてしまう。ドラマや小説でも同じような表現を目にし、家族とは「こういうもの」だと意識が刷り込まれてしまいます。

テレビや新聞、雑誌、SNSなどメディアからは日々大量の情報が発信されており、その内容を無防備に信じることは大変危険なことです。最近では、偽の情報がインターネット上で流れるフェイクニュースがアメリカで広がり、話題になったほか、日本でもSNS等を悪用した事件などが多発しており、社会問題となっています。

メディア・リテラシーとは、

①メディアを主体的に読み解く能力
②メディアにアクセスし、活用する能力

③メディアを通じコミュニケーションする能力
この3つを構成要素とする複合的能力のこと。

情報を発信する側も、受け取る側も、双方の配慮と理解が必要です。情報の危険性や真偽を判断し、効果的なコミュニケーション、情報のツールとしてメディアを活用していきましょう。